

チャイムのない学校

--五日市南中学校区内--



第56号平成24年 3月23日
広島市立五日市南中学校
〒731-5135 佐伯区海老園 4-2-21
TEL082-923-5601 FAX082-923-9828

校長室だより

生徒の成長のために、いつも協力をしていただきありがとうございます。キャリア教育における色濃い他者であるゲストティーチャーやボランティアの方を理解しながら、生徒は自己理解を深めています。それを通して、お互い自己理解を深め、『生きることから学ぶこと』や『協力』の本質を勉強しています。

～『生きることから学ぶこと』や『協力』を大切にしているダルビッシュ有
(校長室だより55号掲載)・落語会の立川談志(校長室だより54号掲載)～

3月12日(月)卒業式では、式辞として次のような話をしました。
「心待ちにしていた桜の開花も、もうすぐと見られている素晴らしい季節を迎えて、.....」

.....

身近な地域の人たちの多大な支えがあったればこそであることを、片時も忘れてはなりません。これから五日市南中学校卒業生として、自分たちで授業をつくってきた、学校をつくってきた、社会や国際社会をつくってきた諸先輩の気概を学びながら、様々な遠い道のを一步一步力強く踏みしめて前進してください。

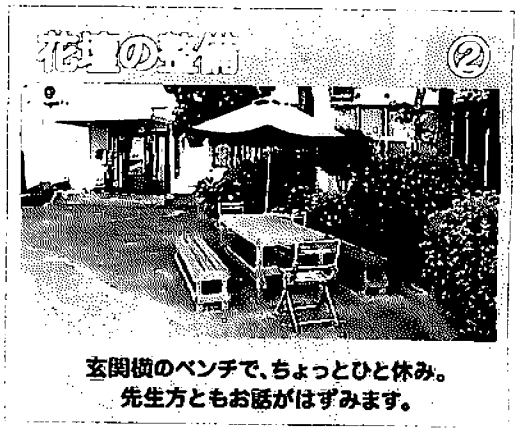
昨年三月十一日、東日本大震災時、二年生だった皆さんは生徒会を中心に直ぐ動いていました。『助けたい』との思いから、募金活動を校内の生徒や保護者に呼びかけ、集まったお金は赤十字社に届けました。

平成22年度



正門横の卒業記念樹の足もとがきれいに整備されました。

平成21年度



玄関横のベンチで、ちょっとひと休み。先生方ともお話がはずみます。

生きることから学んでいました。一年次に『夢への第一歩』二年次に『私のチャレンジ』そして三年次に『地域・社会への貢献』をテーマに学習しました。

校区内における小学校・保育園・地域の方に支えられ、ゲストティー



旧広島市民球場の芝生が雨中にやってきました。
ミニグラウンドに球場の思い出がよみがえります。

チャーやボランティアの方・PTAの方に仕事や役割を通して得た生き方を、失敗談を交えながら語り、勉強してきた総合的な学習の時間は多くのことを学びました。

『地域のヒロシマ』『マップをつくろう～住みよい町にするために～』『健康南中21』『地域のスポーツ』『五日市南地区の防災』『河川の環境』『幼児とのふれあい』『世界に誇るOMOTENASI』をテーマに、それらの内容を通して生き方を小学校六年生に伝えていました。

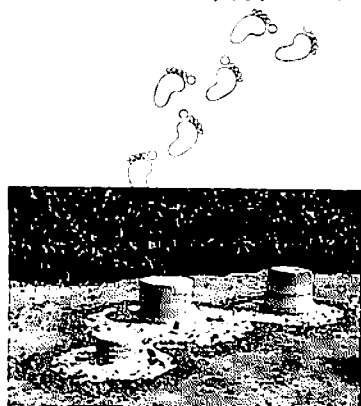
行事を通して一年より二年、二年より三年と大きく殻を破り、温かい友と共に成長してきたと思います。平成23年度とても感心しています。

メモリアルロードⅡ完成まで

しっかり学び、しっかり生き、『学ぶこと』と『生きること』の二つが一つになる生徒として、学ぶことの『学(がく)』生きることの『生(せい)』本来の意味の『学生』として卒業していきます。そんなよき学生の生き方を今後とも続けるために三つの言葉を贈ります。



牛乳パックを再利用して製作した版築は全部で1000個以上作られました。



イスも作りました。



キレイに配置できました。

- 一つめは挨拶という言葉です。『あいさつ』を漢字で書けば、『挨拶』の『挨』という漢字も、『挨拶』の『拶』という漢字も、ともに心を開くという意味が入っています。
- 二つめは努力という言葉です。『昨日と同じ自分があるわけではない。だから今日、努力する。』
- 三つ目の言葉は『反省はする。後悔はしない。』後悔はする。反省はしないではない。『反省はする。後悔はしない。』

きびしいがそんな生き方をしてください。そして、もう一人の自分と自問しながら、この不透明な時代を少しずつ歩み、生き抜いていってください。



地域の方々にも発信！
コミュニケーションボードが設置されました。

五日市南中学校長 本多雅一